

生命の尊と学ぶ

今回は、青少年プランにも位置づけられている学びと探究心を養い、心豊かな子どもの育成を願い、東桂小学校四年生、九十九名を対象にふれあい体験学習を実施しました。赤ちゃんを抱っこしたり、妊婦体験や育児体験学習を通じて命の成り立ちや尊さ、自らの存在について考え学びました。命を支える人たちの気持ちを知り、自らも注がれてきた愛情を再認識することができました。その体験活動を紹介します。



●赤ちゃんはかわいくて、自分の弟や妹のようでした。そして、命というものがこんなに大事なんだと思いました。これからの自分の命を大切にしたいです。

●私の小さいころもお母さんがどれだけ大切にしてくれたかが今日の体験を通してよくわかりました。

●私が産まれた時のお母さんの気持ちがありました。



●今まで赤ちゃんを抱いたりお風呂に入れる経験がなかったのでもむずかしかった。

●入浴体験で耳に水が入ってしまった失敗した。人形でよかった。

●赤ちゃんが産まれるまでと産まれてからの大変さを知りました。

●お風呂に入れるのに三人でも大変でした。一人で入れると？

●赤ちゃんを抱いたら、僕たちもこんなに小さい時があったんだなと思いました。僕もお父さんとお母さんに大事にされていたんだと思いました。

●すぐおもしろかったです。赤ちゃんも私が抱くと笑ってくれました。命の大切さと、お母さんの大変さがわかりました。



●首が据わっていないので、どきどきしながら抱きました。やっぱりかわいかった。

●大変な思いをして僕をここまで育ててくれてありがとう。

●お母さんがあんなに重たい思いをして生活する大変さをはじめて知りました。妊婦体験コーナーに参加してよかったです。

